

この問題集の 特長



「聞けない」子を 救う一冊！

「あれだけ言ったのに、聞いてなかったの？」

「たった今、話したばかりじゃないか！
なんで聞いてなかったんだ」

こういう言葉を、いったい何度発したか知らない……そういうお母さんお父さん、あるいは先生方、たくさんいらっしゃることでしょ。

聞いていなかった——。

本当にそうなのでしょうが？ もしかして、「聞いていなかった」のでは

ありませんか？ 言葉は耳に届いていました。でも、内容を理解できていなかった。これ、実はかなり多いのではないかと思います。この問題集は、そういう子どもたちを救うために作りました。

「理解力」が 高まる！

同じ話を聞いても、深く理解できる子と、そうでない子がいます。理解力の差です。

では、理解力とは何でしょうか？

その概要は、4ページからの解説、さらには各パート冒頭（9・27・49ページ）をご覧ください。

聞いて理解する力、さらに言えば「一を聞いて十を知る力」を高める。そのために、この問題集が心強い味方になってくれるはずです。

「ふくしま式」に対する 感謝・感動の声、続々！

「何をやっても続かない息子が初めて最初から最後まで終えたのが、ふくしま式問題集でした。親のほうにも達成感があります」（小3男子保護者）

「この問題集面白いね、長文読解ばかりが国語じゃないんだねお母さん、と言われたとき、娘の変化を実感しました」（小5女子保護者）

「教材は各家庭のリクエストに合わせているのですが、ふくしま式を使ってくださいと多くのご家庭で言われることに驚いています」（家庭教師）

「話す、聞く、書く、読む。全てに共通する技術があるんだというお話、心の底から納得です」（小学校校長）

さあ、あなたも今すぐ、「ふくしま式」の扉を開きましょう！